**ふくしまエコイベントチェックシート**

※ 計画・実施欄に､「○（実施）」､「×（今回は実施しない）」､「／（該当しない）」を記載してください。

|  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- |
| 取組項目 | Step | 取　組　内　容 | 計画 | 実施 |
| (1)自然環境への配慮 | Step1（必須） | ① | 可能な範囲で、イベントの開催が自然環境へどのような影響を与えるのかを考えます。 | 　 | 　 |
| ② | 会場は、既存施設を活用し、自然環境への影響を最小限にします。 | 　 | 　 |
| ③ | 植樹、魚の放流等を行う場合は、生態系への影響に配慮します。 | 　 | 　 |
| ④ | 自然公園や自然環境保全地域等を利用するときは、その規則を守ります。 | 　 | 　 |
| ⑤ | 事前に会場周辺の生態系を確認します。自然や生物の環境にはできるだけ手を加えません。 | 　 | 　 |
| Step2（努力） | ① | 施設を設置する場合は、自然環境に配慮した資材や工法を採用します。 | 　 | 　 |
| ② | 施設を設置する場合は、会場周辺の景観に配慮します。 | 　 | 　 |
| ③ | 自然や生物の環境に手を加えたところについては、原状回復を図ります。 | 　 | 　 |
| ④ | ＮＰＯ法人やボランティア等の協力を得るなどして、参加者が自然に学び、ふれあう機会を創ります。 | 　 | 　 |
| 上記以外の取組み | 　 | 　 | 　 | 　 |
| (2)ごみ減量化・リサイクル  | Step1（必須） | ① | チラシや資料、啓発資材等は配付数を十分検討して、無駄のないように必要数を作成します。 | 　 | 　 |
| ② | 余ったチラシや資料等は再使用（リユース）、再生利用（リサイクル）します。 | 　 | 　 |
| ③ | 参加者に、マイバッグ、マイボトル、マイ食器の利用や簡易包装を呼び掛けます。 | 　 | 　 |
| ④ | 飲食物、土産品等に対する過剰な包装や袋の配布等を抑制します。 | 　 | 　 |
| ⑤ | 参加者に、ごみの持ち帰り、減量化、分別等の協力を求めます。 | 　 | 　 |
| ⑥ | ごみは、会場がある市町村のルールに従って分別します。 | 　 | 　 |
| Step2（努力） | ① | 飲料を提供する場合は、ワンウェイの製品及び容器包装を使用しません。 | 　 | 　 |
| ② | 繰り返し利用可能な容器等を使用したり、容器包装の返却・回収したりします。 | 　 | 　 |
| ③ | 飲食物を提供する際は、提供する飲食物の量を調節可能とすることなどにより、食品ロスが発生しないように努めます。 | 　 | 　 |
| ④ | ごみ箱を管理するスタッフを置き、ごみの分別方法等を説明します。 | 　 | 　 |
| ⑤ | ワンウェイのプラスチック製買い物袋は、25％以上を環境負荷低減効果が確認されたバイオマスプラスチック等のグリーン購入法の判断の基準を満たしたものを使用します。 | 　 | 　 |
| ⑥ | プラスチック製のごみ袋は、再生プラスチックがプラスチック重量の40％以上を使用する等のグリーン購入法の判断の基準を満たしたごみ袋を使用します。（会場がある市町村のルールに指定がない場合） | 　 | 　 |
| ⑦ | マイバッグ、マイボトル、マイ食器の持参により環境配慮に協力している参加者へ特典を与えます。 | 　 | 　 |
| ⑧ | 食品廃棄物やイベント資材の再生利用（リサイクル）、再生材使用（Renewable）等に取り組みます。 | 　 | 　 |
| 上記以外の取組み | 　 | 　 | 　 | 　 |
| (3)交通による環境負荷対策 | Step1（必須） | ① | 会場は、可能な限り公共交通機関の利用に配慮して選定します。 | 　 | 　 |
| ② | 公共交通機関や自転車など環境負荷の少ない手段による来場を呼びかけます。 | 　 | 　 |
| ③ | 自動車の効率的な利用（相乗り等）を呼びかけます。 | 　 | 　 |
| ④ | エコドライブを呼びかけます。 | 　 | 　 |
| Step2（努力） | ① | パーク・アンド・ライド環境の整備やシャトルバスの活用により、効率的な交通手段を用意します。 | 　 | 　 |
| ② | 効率的な自動車の誘導、交通経路の情報提供等を実施するとともに、必要に応じて交通規制を行います。 | 　 | 　 |
| ③ | 交通渋滞によるエネルギーロスを減らすため、イベント開催時間に配慮します。 | 　 | 　 |
| ④ | 自転車・公共交通機関の利用、自動車の相乗りなど、環境配慮に協力している参加者に対して特典を与えます。 | 　 | 　 |
| ⑤ | 電動車などの環境性能に優れた自動車を活用します。 | 　 | 　 |
| ⑥ | イベントの目的に応じて、オンライン配信等を活用します。 | 　 | 　 |
| 上記以外の取組み | 　 | 　 | 　 | 　 |
| (4)省資源・省エネルギ｜ | Step1（必須） | ① | チラシや資料、啓発資材等は配付部数を十分検討して、無駄のないように必要部数を作成します。（再掲） | 　 | 　 |
| ② | 照明の適正化や空調の温度調整によりエネルギー消費をできるだけ少なくします。 | 　 | 　 |
| ③ | 参加者に省資源・省エネルギーへの協力を呼びかけます。 | 　 | 　 |
| ④ | 物品等の購入に当たっては、環境に配慮した商品（エコマーク、グリーンマーク商品等）の購入に努めます。 | 　 | 　 |
| ⑤ | インターネット等を活用して、資源を節約したＰＲを行います。 | 　 | 　 |
| ⑥ | 主催者は、エコドライブを行います。 | 　 | 　 |
| Step2（努力） | ① | 施設の設置に当たっては、間伐材を利用したり、高断熱、自然採光等の省エネ工法を活用します | 　 | 　 |
| ② | 節水型トイレや雨水利用システム等の省資源型設備を導入します。 | 　 | 　 |
| ③ | 会場内の照明や移動手段の動力源等に、太陽光発電や生ごみ発電等の再生可能エネルギーを活用します。 | 　 | 　 |
| ④ | グリーン電力利用又はグリーン電力商品の購入に努めます。 | 　 | 　 |
| ➄ | カーボン・オフセットの実施に努めます。 | 　 | 　 |
| ⑥ | 資材、物品等はできるだけ地域で生産されたものを調達するよう心がけるとともに、イベントの講師等には地域で活動する方を積極的に活用します。 | 　 | 　 |
| ⑦ | 自動車により資機材の搬送を行う場合は、可能な限り電動車などの環境性能に優れた自動車を使用します。 | 　 | 　 |
| 上記以外の取組み | 　 | 　 | 　 | 　 |
| (5)参加者への普及啓発 | Step1（必須） | ① | 環境に配慮したイベントであることを積極的にＰＲします。 | 　 | 　 |
| ② | 環境配慮の内容を参加者にわかりやすく示し、協力を求めます。 | 　 | 　 |
| Step2（努力） | ① | 参加者自らが環境への配慮を体験できるようにします。 | 　 | 　 |
| ② | 参加者に各種環境関連情報を積極的に提供します。 | 　 | 　 |
| ③ | ＮＰＯ法人やボランティア等と連携し、参加者が環境について学ぶ機会を提供します。 | 　 | 　 |
| 上記以外の取組み | 　 | 　 | 　 | 　 |
| (6)環境配慮を推進する運営体制 | Step1（必須） | ① | 環境に配慮したイベントとすることを宣言し、計画（取組項目、内容等）を立てます。 | 　 | 　 |
| ② | 環境配慮を推進する責任者を決めて、進行管理を行います。 | 　 | 　 |
| ③ | スタッフや出展者等に取組項目等を事前に説明し、環境配慮の徹底を図ります。 | 　 | 　 |
| ④ | 取組結果をチェックして、常にステップアップを図ります。 | 　 | 　 |
| ⑤ | 参加者に対し、環境負荷低減に資するため、公共交通機関の利用、クールビズ、ウォームビズ、筆記具等の持参等の取組を奨励します。 | 　 | 　 |
| Step2（努力） | ① | 取組内容や成果を積極的にＰＲし、他のイベントにおける環境配慮に貢献します。 | 　 | 　 |
| ② | ＮＰＯ法人やボランティア等との連携・協働を図ります。 | 　 | 　 |
| ③ | ユニバーサルデザインの考え方に基づいた運営を行います。 | 　 | 　 |
| ④ | 会議に供する物品については、可能な限り既存の物品を使用し、また、新規に購入する物品が特定調達品目に該当する場合は、当該品目に係る判断の基準を満たす物品を購入します。 | 　 | 　 |
| ⑤ | ノートパソコン、タブレット等の端末を使用することにより紙資源の削減を行います。 | 　 | 　 |
| ⑥ | 資機材の搬送に使用する梱包用資材については、可能な限り簡易であって、再生利用の容易さ及び廃棄時の負荷低減に配慮されているものを使用します。 | 　 | 　 |
| 上記以外の取組み | 　 | 　 | 　 | 　 |
| その他の取組 |  |  |  |  |  |